

高齢者および障がい者の
入所施設における歯科口腔保健事業に
関する調査結果

令和4年8月
佐世保市

目 次

○ 調査の概要	1
○ 高齢者入所施設を対象とした調査の結果の概要		
1 調査対象・施設の入所定員	2
2 回収数・率		
3 歯科予算計上の有無・歯科医師による歯科健診を受ける機会	3
4 歯科医師・歯科衛生士による歯科保健指導を受ける機会	4
5 歯科医師、歯科保健指導以外の取り組み	5
6 歯科治療が必要な際の対応	6
7 入所者の歯・口のことで問題を感じることもあるか	7
8 食べ方や飲み込みなどの嚥下機能向上に関して施設全体の取り組み	8
<参考>		
令和4年度 最終評価時のみに追加された新規設問(調査)		
(施設種別の歯科医師・歯科衛生士の配置、口腔ケアの現状)	9~12
(訪問歯科診療の現状、栄養マネジメント・経口維持・経口移行の加算の現状)	13~14
(食事介助・摂食機能・嚥下機能の維持向上に関する状況)	15~16
○ 障がい者入所施設を対象とした調査の結果の概要		
1 調査対象	17
2 回収数・率		
3 施設の入所定員・歯科予算計上の有無	18
4 歯科医師による歯科健診を受ける機会	19
5 歯科医師・歯科衛生士による歯科保健指導を受ける機会	20
6 歯科健診、歯科保健指導以外の取り組み	21
7 歯科治療が必要な際の対応	22
8 入所者の歯・口のことで問題を感じることもあるか	23
9 食べ方や飲み込みなどの嚥下機能向上の取り組み	24
10 入所者の食事介助のことで問題を感じることもあるか	25
11 摂食・嚥下障害がある入所者への指導・訓練の有無	26
◇ 資料		
佐世保市高齢者の入所施設における歯科口腔保健事業に関するアンケート (高齢者入所施設用)調査票		
佐世保市障がい者の入所施設における歯科口腔保健事業に関するアンケート (障がい者入所施設用)調査票		

高齢者・障がい者入所施設調査

■ 調査の概要

1. 調査の目的

「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進条例」の第7条に基づく計画として、平成25年度から令和4年度（2013年度～2022年度）までの10年間における『佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画』を平成25年3月に策定した。その5年後の平成29年度に調査を行い中間報告として評価を行った。本年度では最終評価のために調査を実施した。

2. 実施主体 佐世保市

3. 対象施設数

市内すべての高齢者および障がい者入所施設に調査を行った。

(1) 高齢者入所施設

介護老人福祉施設	20施設	
介護老人保健施設	9施設	計 29施設

※平成25年度に実施した調査では、介護老人福祉施設が18施設であった。

(2) 障がい者入所施設

障がい者入所施設	7施設	計 7施設
----------	-----	-------

4. 調査の方法

平成25年度と28年度の調査では、調査票を対象施設に対して送付・依頼した。施設において記入された後、返信用封筒で市に郵送された。令和4年度では、オンラインで調査を依頼し、オンラインでの回答が得た。

5. 調査期間

令和4年4月28日から年5月11日までにオンライン(FAXも含む)での回答を得た。

6. 回答数と回収率

(1) 高齢者入所施設

回答	27施設	回収率	93%(27/29)
うち 介護老人福祉施設	18施設		(90%=18/20)
うち 介護老人保健施設	9施設		(100%=9/9)

(2) 障がい者入所施設

回答	7施設	回収率	100%(7/7)
----	-----	-----	-----------

※平成25年度と平成28年度に実施した調査では、高齢者入所施設および障がい者入所施設からの回収率は100%であった。今年度においては2件からの回答が得られなかった。

高齢者入所施設を対とした調査結果の概要

○介護老人福祉と介護老人保健施設の両方を対象とし、H25とH28の回収率は100%であったが、今回は2件の介護老人福祉施設からの回答得られなかった。

診査対象

	佐世保市調査					
	H25		H28		R4	
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
介護老人福祉施設	18	67%	20	69%	20	69%
介護老人保健施設	9	33%	9	31%	9	31%
	27	100%	29	100%	29	100%

回収数・率

	佐世保市調査					
	H25		H28		R4	
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
介護老人福祉施設	18	67%	20	69%	18	67%
介護老人保健施設	9	33%	9	31%	9	33%
	27	100%	29	100%	27	93%

○ R4年度の佐世保市内施設の入所定員は、H25年とH28年の調査結果と比較して変化は認められず、50から99名の階級が多く、おおよそ80%を占めた。

【参考】※ R4年度の要介護度1-5の入所者数の中央値は50名であり、四分位範囲は45から80名であった。また、R4年度の施設職員数の中央値は50名であり、四分位範囲は37から80名であった。

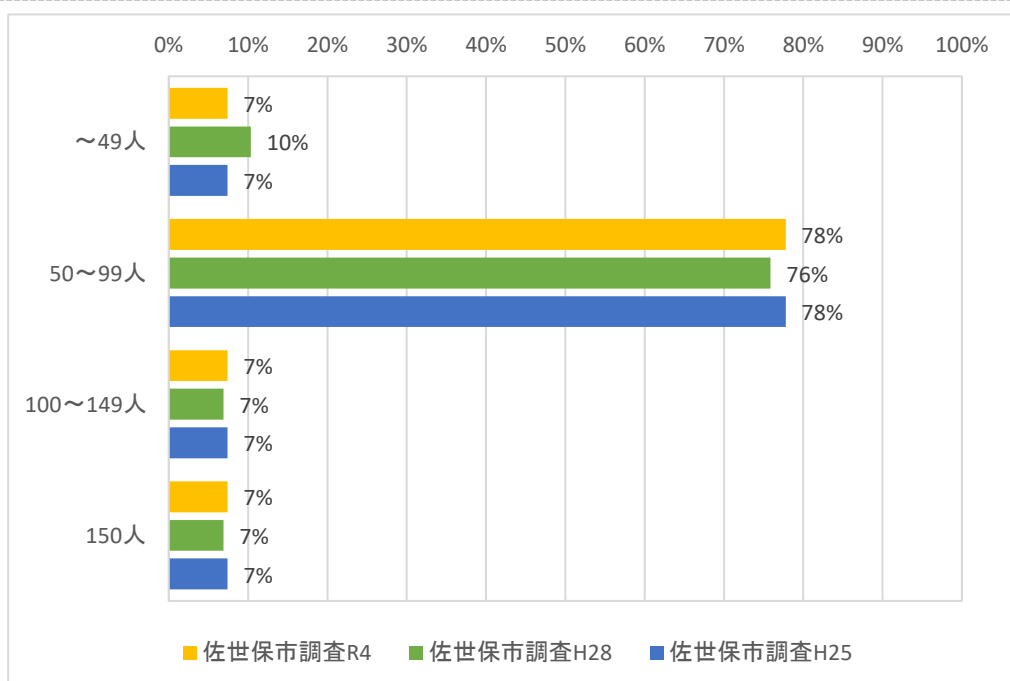
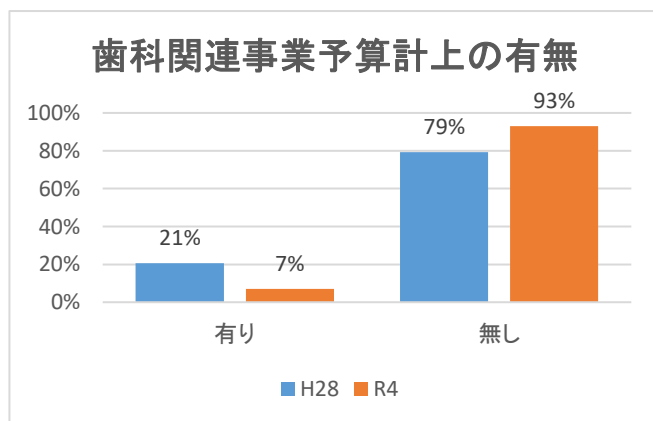


表1 施設の入所定員

	佐世保市調査					
	H25		H28		R4	
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
~49人	2	7%	3	10%	2	7%
50~99人	21	78%	22	76%	21	78%
100~149人	2	7%	2	7%	2	7%
150人以上	2	7%	2	7%	2	7%
	27	100%	29	100%	27	100%

○ 「歯科関連事業(歯科健診や歯科保健指導など)について施設独自で予算を計上している施設」はH28に6施設であったがR4では2施設に減少した。



○ 歯科医師による歯科健診を受ける施設の割合は、H25 から減少傾向を示した。さらに、「あり」と回答した12施設の中で入所者全員に対して年1回以上定期受診を受けてる施設は37%(10件)であった。

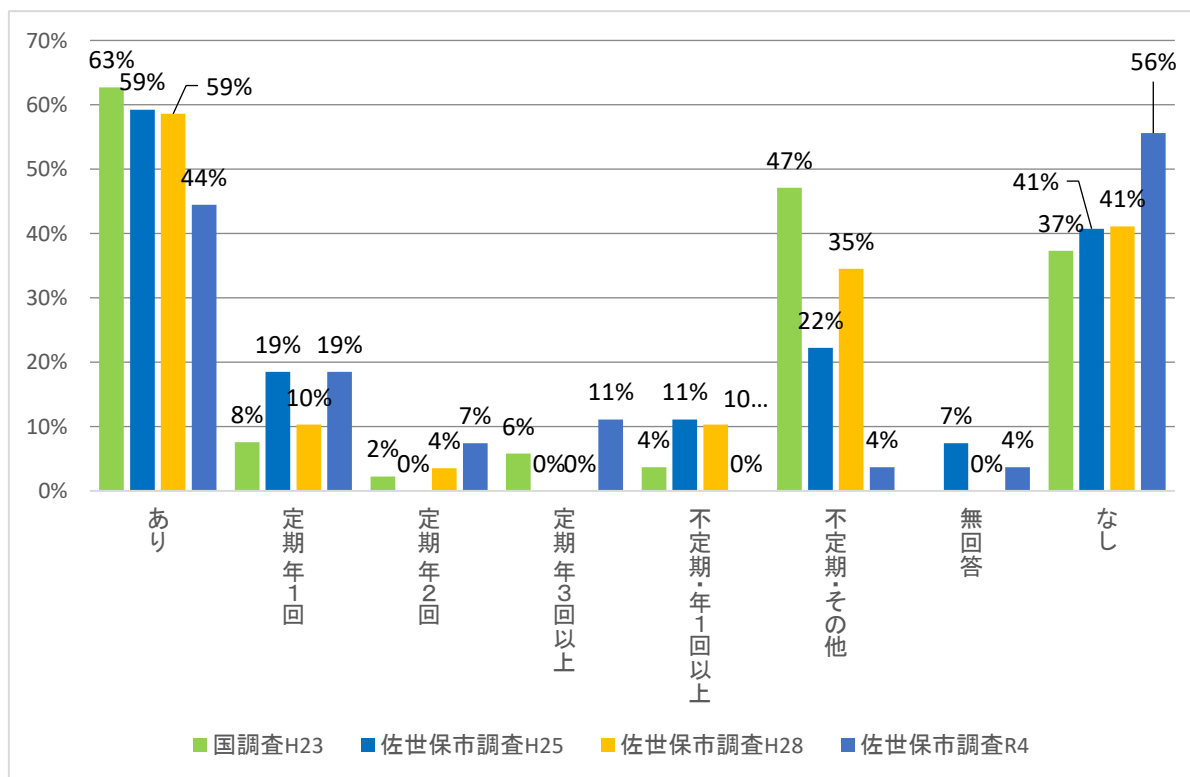


表2 歯科医師による歯科健診を受ける機会

	国調査		佐世保市調査					
	H23	H25	H28	H28	R4	R4		
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
あり	531	62.7%	16	59%	17	59%	12	44%
定期年1回	64	7.6%	5	19%	3	10%	5	19%
定期年2回	19	2.2%	0	0%	1	4%	2	7%
定期年3回以上	49	5.8%	0	0%	0	0%	3	11%
不定期年1回以上	31	3.7%	3	11%	3	10%	0	0%
不定期その他	399	47.1%	6	22%	10	35%	1	4%
無回答			2	7%	0	0%	1	4%
なし	316	37.3%	11	41%	12	41%	15	56%
	847	100%	27	100%	29	100%	27	100%

○ 歯科医師・歯科衛生士による歯科保健指導を受ける施設の割合は、国と比較して高いままであるが、H25からその割合は減少傾向にある。また、令和4年度、歯科保健指導の機会が「あり」と回答した21施設のうち入所者全員に対して年1回以上定期的に受けている施設は44%（12件）であった。

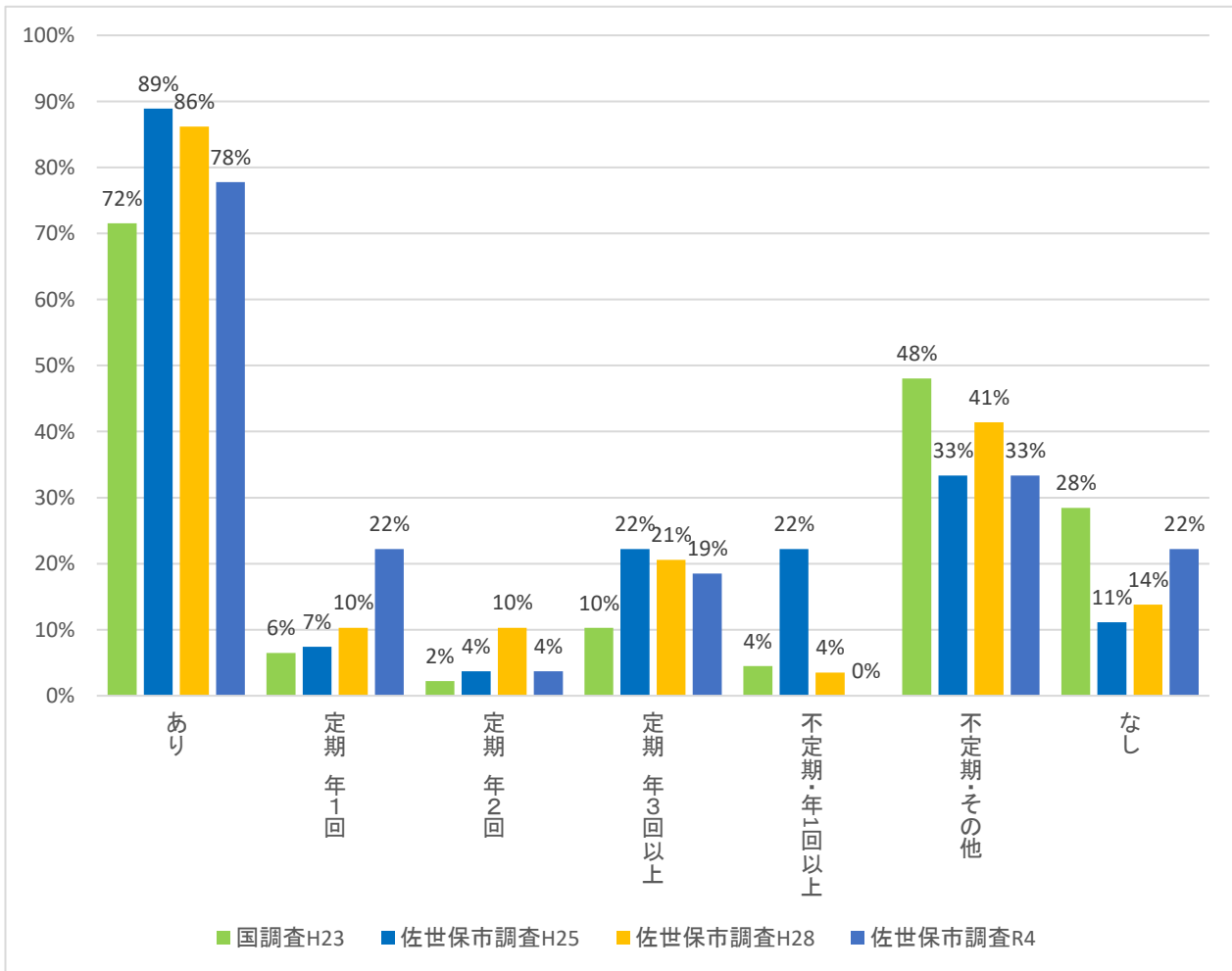


表3 歯科医師・歯科衛生士による歯科保健指導を受ける機会

機会	国調査			
	H23	H25	H28	R4
	施設数	施設数	施設数	施設数
あり	606	24	25	21
定期 年1回	55	2	3	6
定期 年2回	19	1	3	1
定期 年3回以上	87	6	6	5
不定期・年1回以上	38	6	1	0
不定期・その他	407	9	12	9
なし	241	3	4	6
	847	27	29	27

○ 歯科健診、歯科保健指導以外の取り組みは、食後の歯磨きの時間を確保して入所者自身の歯磨きの後に職員がチェックする状況であった。職員による歯磨きをする施設の割合はH28で92%であったが、R4は79%と減少した。

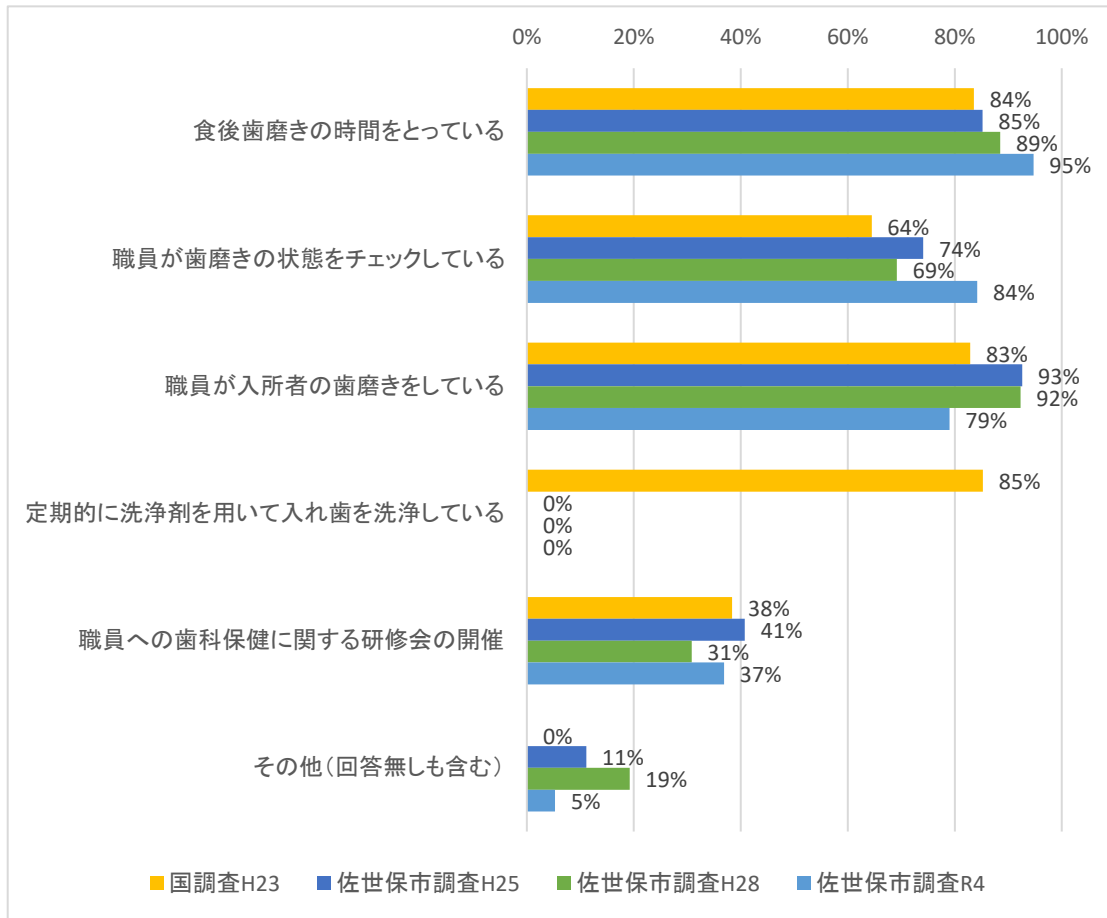


表4 歯科健診、歯科保健指導以外の取り組み(複数回答)

	国調査		佐世保市調査					
	H23	H25	H28	R4	H23	H25	H28	R4
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
食後歯磨きの時間をとっている	708	83.6%	23	85%	23	89%	18	95%
職員が歯磨きの状態をチェックしている	546	64.5%	20	74%	18	69%	16	84%
職員が入所者の歯磨きをしている	702	82.9%	25	93%	24	92%	15	79%
定期的に洗浄剤を用いて入れ歯を洗浄している	722	85.2%	0	0%	0	0%	0	0%
職員への歯科保健に関する研修会の開催	325	38.4%	11	41%	8	31%	7	37%
その他	0	0.0%	3	11%	5	19%	1	5%
	847	100%	27	100%	26	100%	19	100%

※取り組みを「している」と回答した施設のみ

○ 歯科治療が必要な際の対応は、R4年度において「職員が近隣の歯科医院に連れて行く」が30%であり、「近隣の歯科医院に往診を依頼をする」が67%であった。

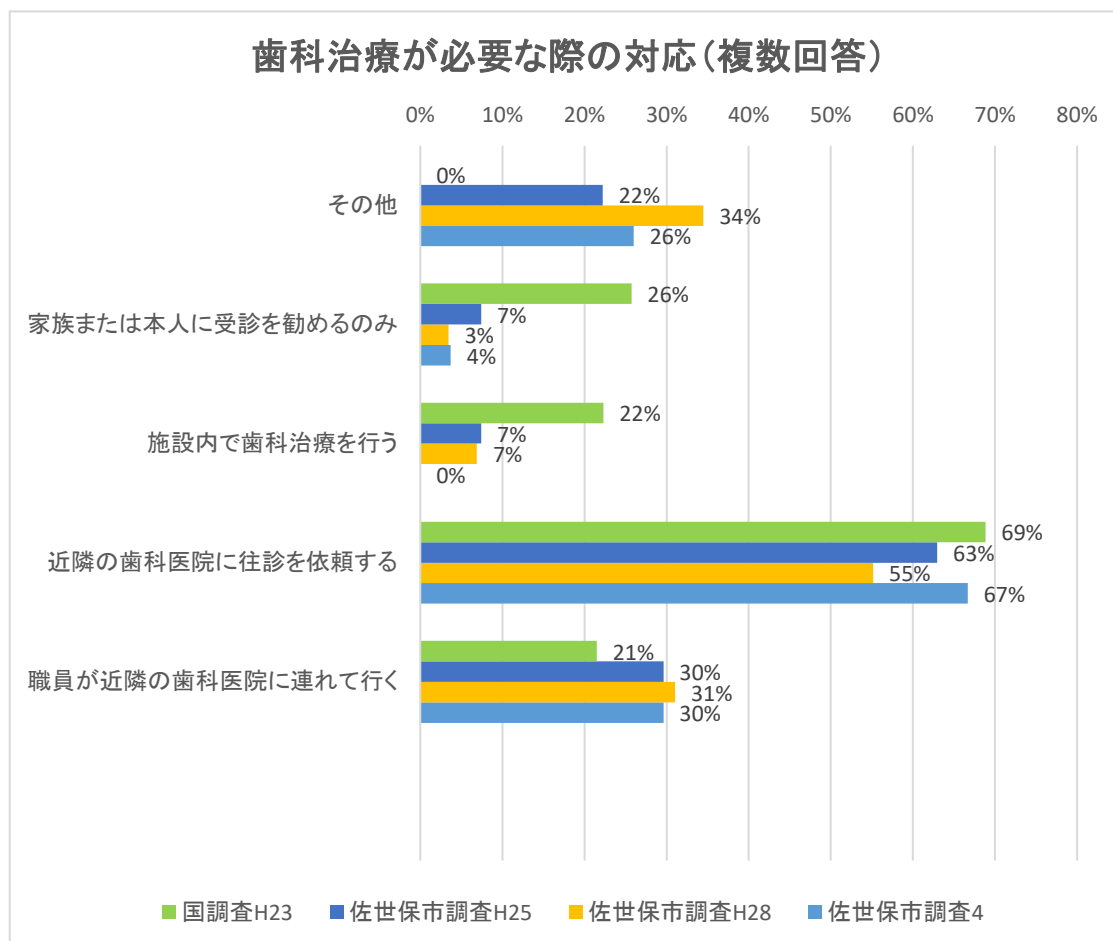


表5 歯科治療が必要な際の対応(複数回答)

	国調査		H25		佐世保市調査		R4	
	H23	H23	H25	H25	H28	H28	R4	R4
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
職員が近隣の歯科医院に連れて行く	182	21.5%	8	30%	9	31%	8	30%
近隣の歯科医院に往診を依頼する	583	68.8%	17	63%	16	55%	18	67%
施設内(または併設)の歯科で治療を行う	189	22.3%	2	7%	2	7%	0	0%
家族または本人に受診を勧めるのみ	218	25.7%	2	7%	1	3%	1	4%
その他	0	0.0%	6	22%	10	34%	7	26%
	847	100.0%	27	100%	29	100%	27	100%

○ 入所者の歯・口に関して問題を感じることもあるかについて、「ややある」と回答した施設が最も多く56%であったが、H25から経年的に問題を感じるものが減る傾向にあった。

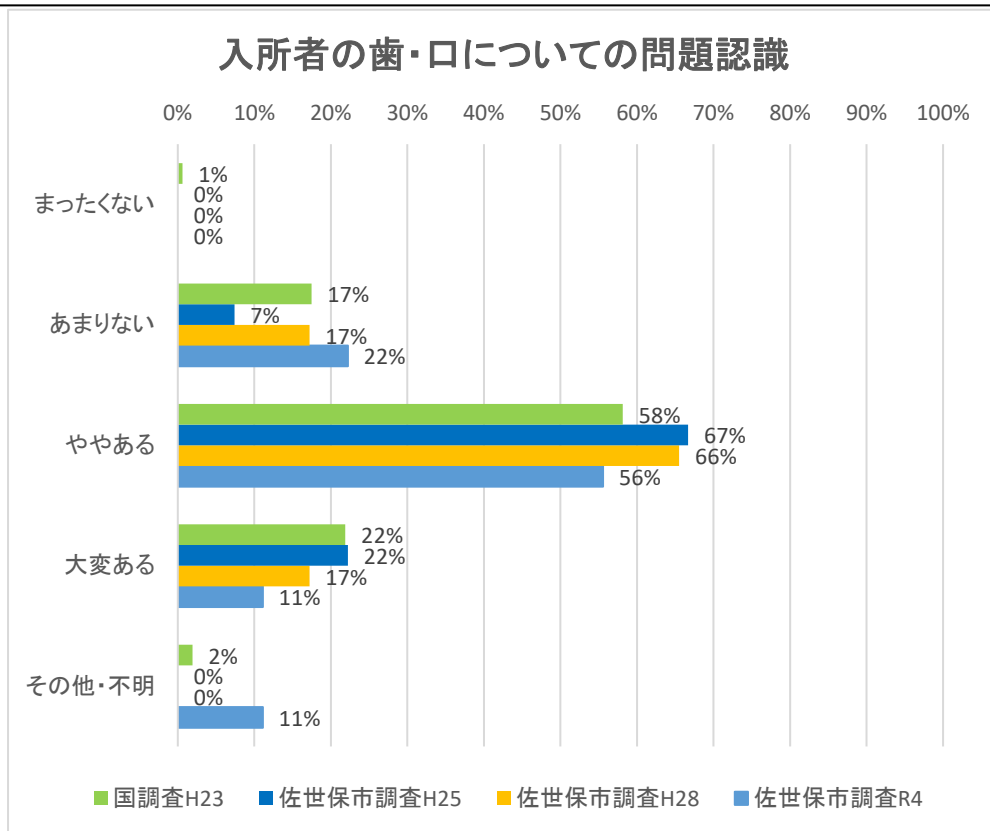


表6 入所者の歯・口のことので問題を感じることもあるか

	国調査		佐世保市調査					
	H23	H25	H28	R4	H23	H25	H28	R4
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
大変ある	184	21.9%	6	22%	5	17%	3	11%
ややある	489	58.1%	18	67%	19	66%	15	56%
あまりない	147	17.5%	2	7%	5	17%	6	22%
まったくない	5	0.6%	0	0%	0	0%	0	0%
その他・不明	16	1.9%	0	0%	0	0%	3	11%
	841	100.0%	27	100%	29	100%	27	100%

○「施設職員が嚥下ケア研修会へ参加している」割合は減少しており、「スクリーニングを全員に対して行うこと」と「嚥下体操を実施している」施設の割合がおおよそ増えている傾向にあることから、研修会で得た知識が職員に周知され施設全体で取り組んでいると考えられた。

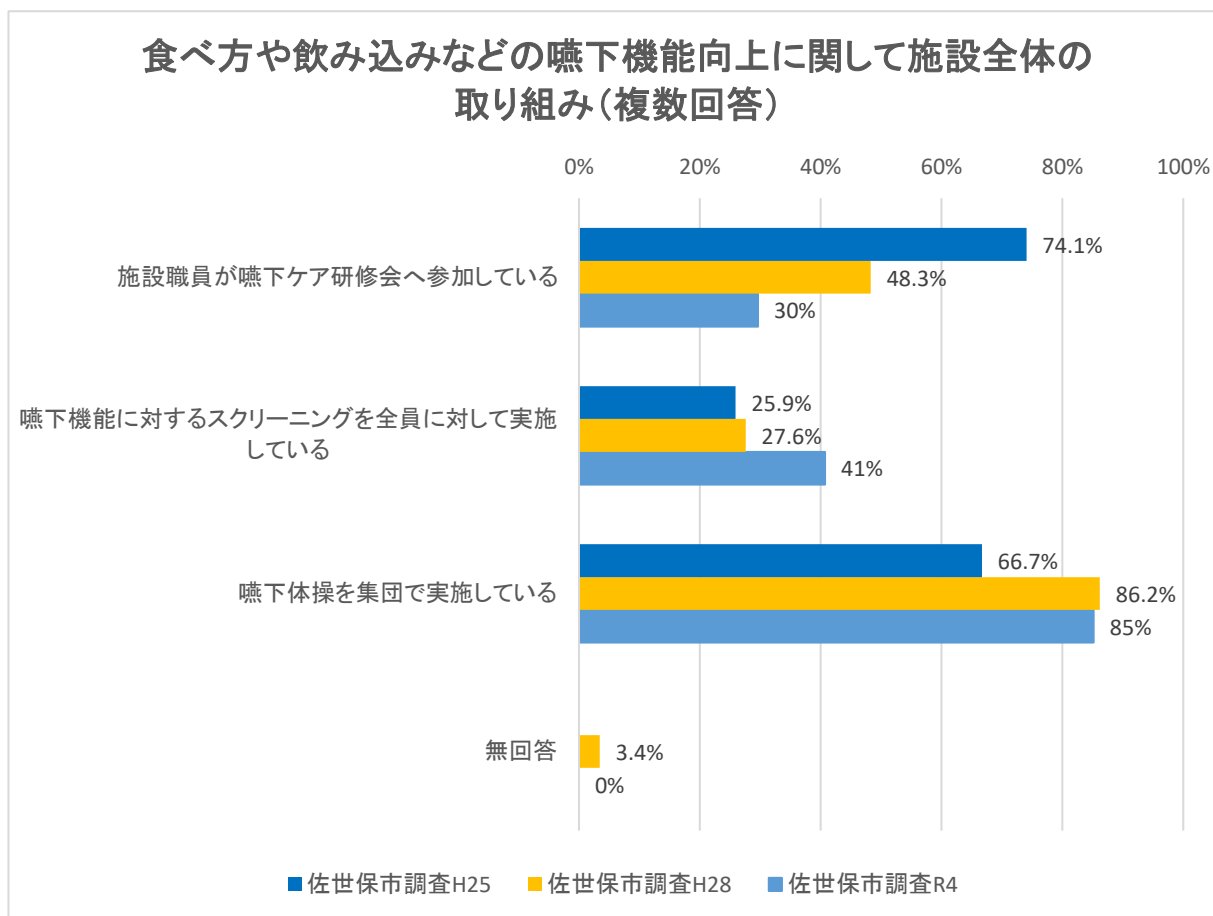
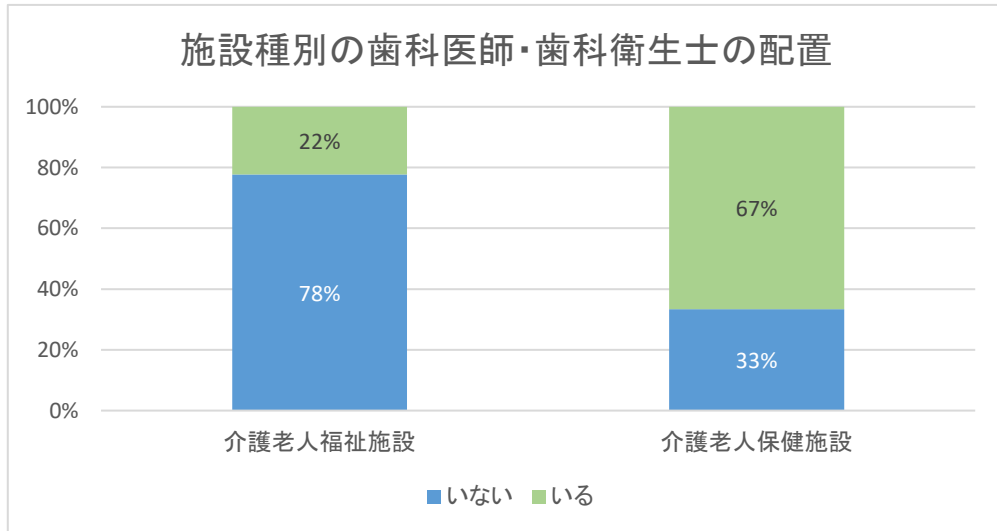


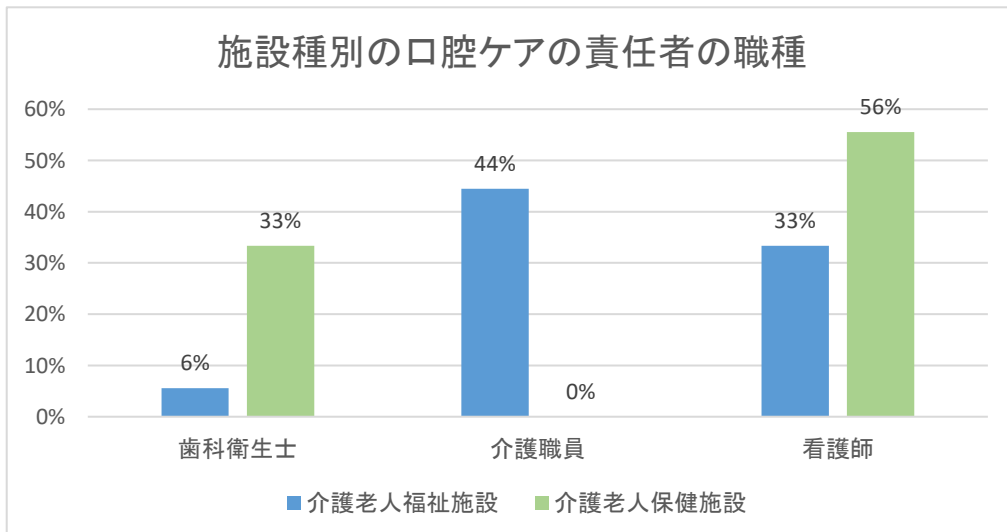
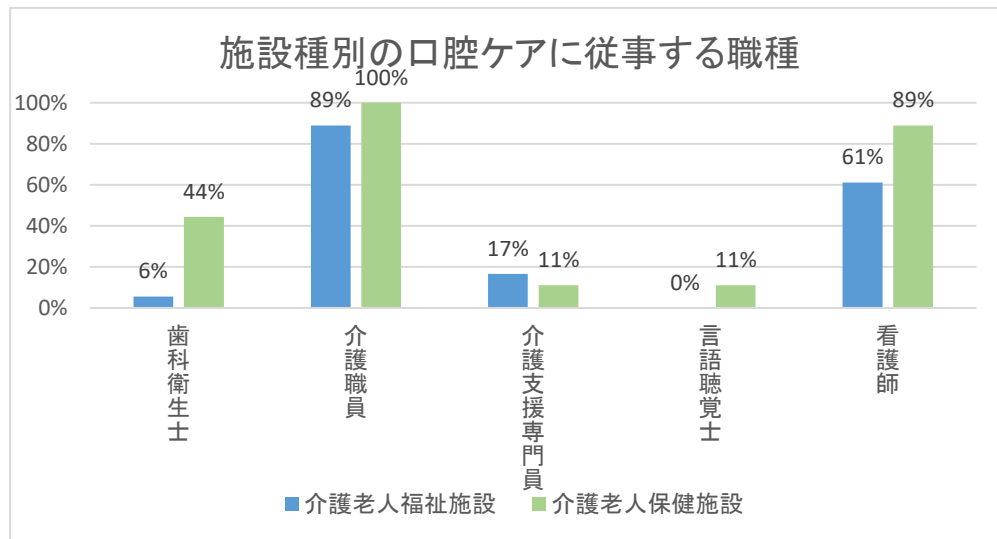
表7 食べ方や飲み込みなどの嚥下機能向上に関して施設全体の取り組み(複数回答)

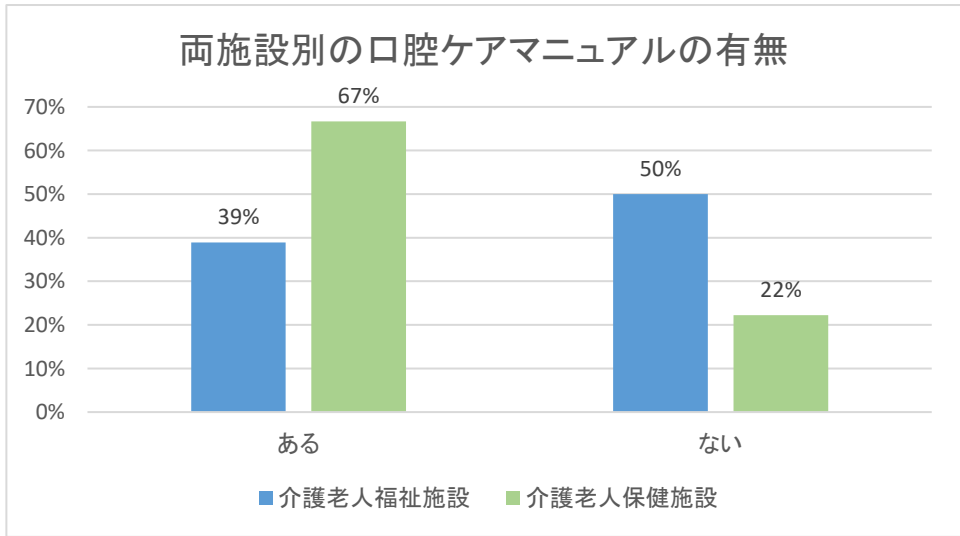
	佐世保市調査					
	H25		H28		R4	
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
嚥下体操を集団で実施している	18	67%	25	86%	23	85%
嚥下機能に対するスクリーニングを全員に対して実施している	7	26%	8	28%	11	41%
施設職員が嚥下ケア研修会へ参加している	20	74%	14	48%	8	30%
無回答	0	0%	1	3%	0	0%
	27	100%	29	100%	27	100%



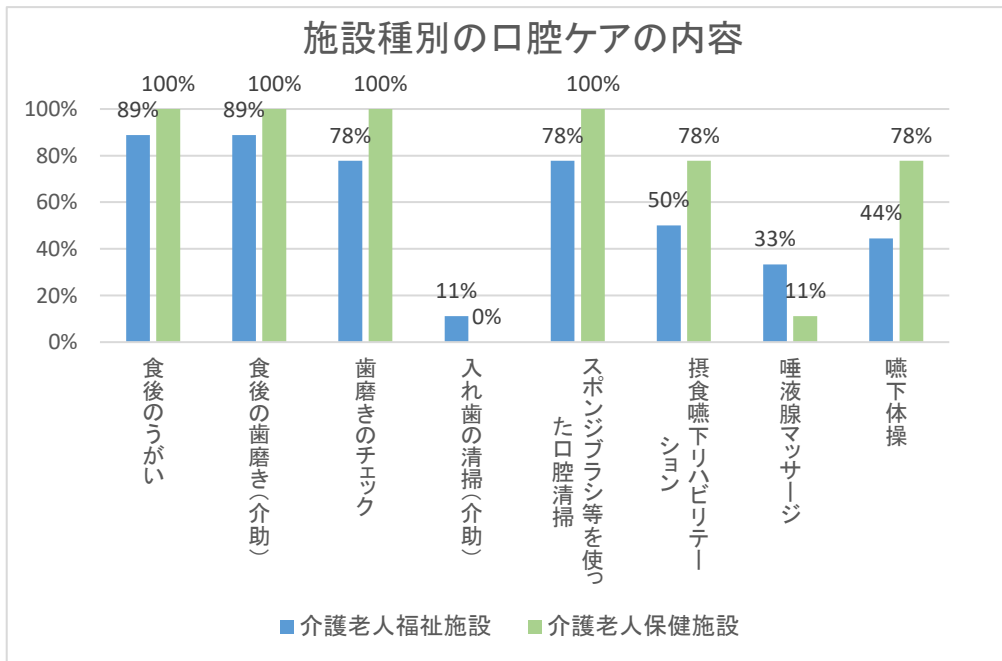
歯科医師または歯科衛生士が配置されていると回答した内訳
 介護老人福祉施設: 非常勤歯科医師(1件)、嘱託歯科医師(3件)
 介護老人保健施設: 非常勤歯科衛生士(2件)、嘱託歯科衛生士(1件)

《施設における口腔ケアの状況》

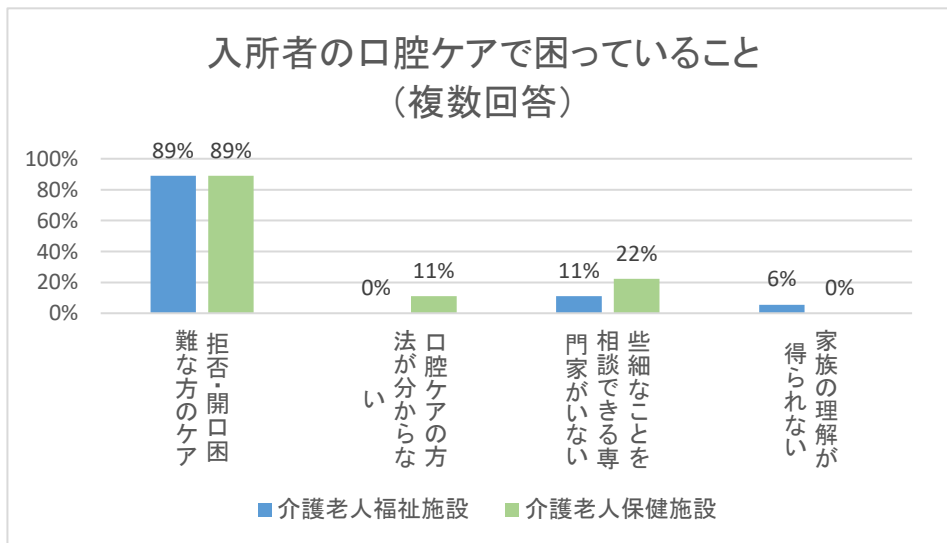




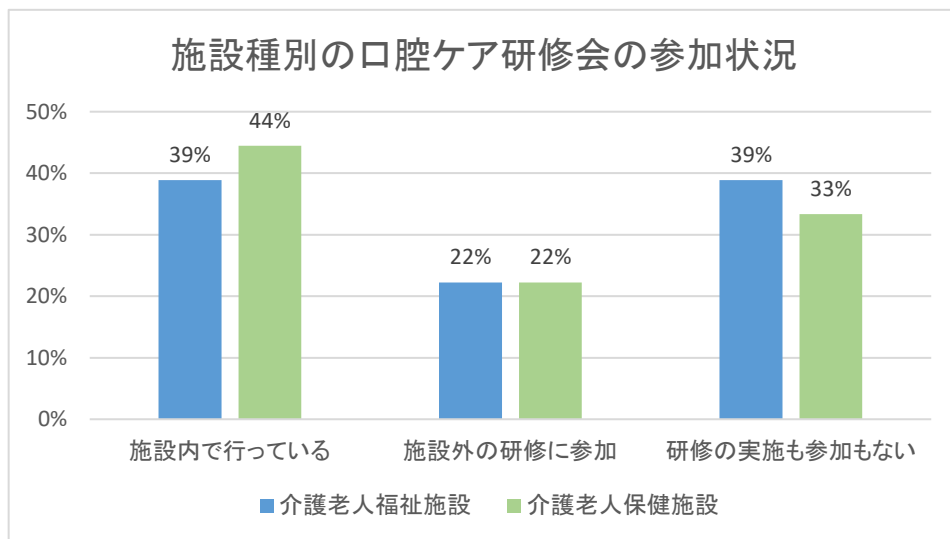
福祉施設よりも保健施設において、口腔ケアに関するマニュアルが作成されていた。



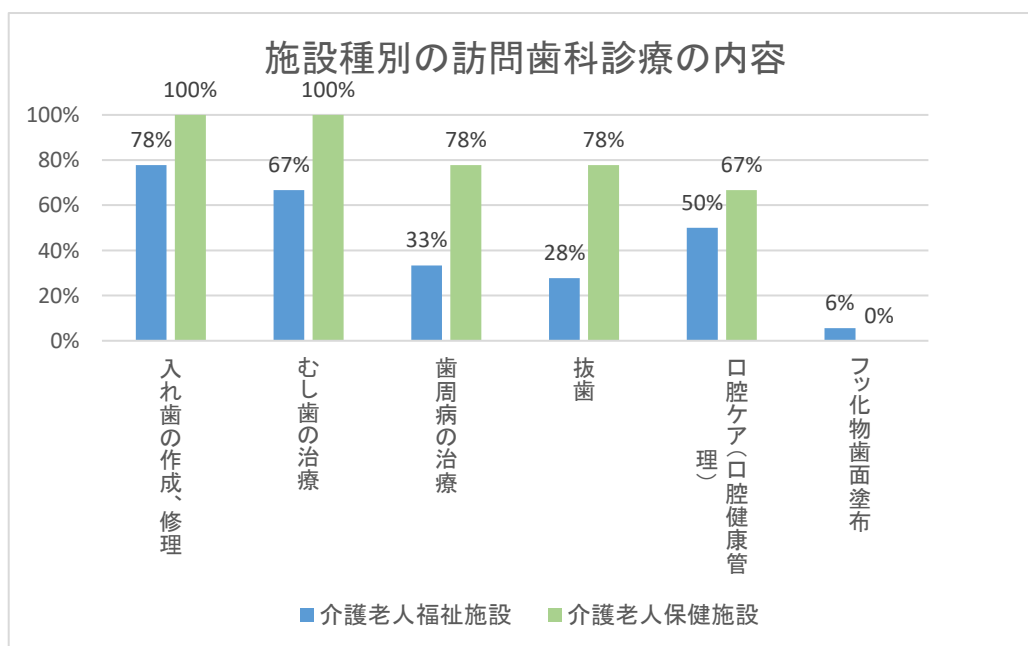
介護老人福祉施設と保健施設の両方すべてにおいて、入所者への口腔ケアを実施しているとの回答であった。入所者へ実施している口腔ケアの内容は食後の歯磨きやうがいから嚥下体操まで多岐にわたって行われていた。



介護老人福祉施設と保健施設における口腔ケア時の困りごとの一番は、入所者が口腔ケアを拒否による開口困難であった。さらには、些細なことを相談できる専門家がないが両施設2件ずつに見られた。また、介護老人福祉施設と保健施設の両方ともおよそ90%が「口腔ケアへの拒否があることや開口困難な入所者の口腔ケアである」と回答した。

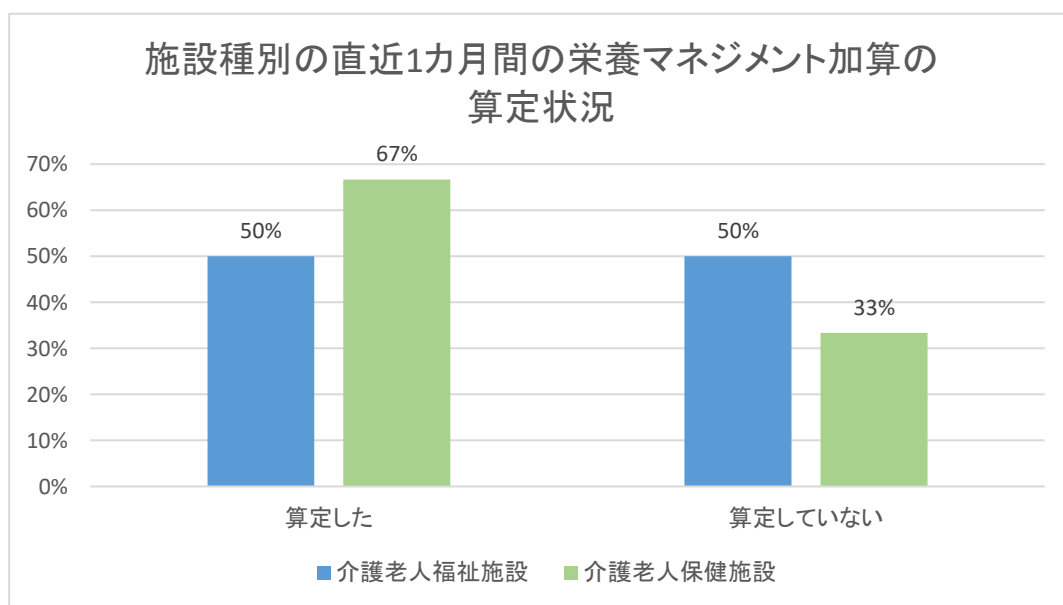


介護老人福祉施設と保健施設における口腔ケア研修会への参加は、60-70%と半数以上の施設が参加していた。



介護老人福祉施設と保健施設の27施設すべてにおいて訪問歯科診療を利用する機会があると回答した。その内容は、入れ歯の作成、修理とむし歯の治療が多く見られた。

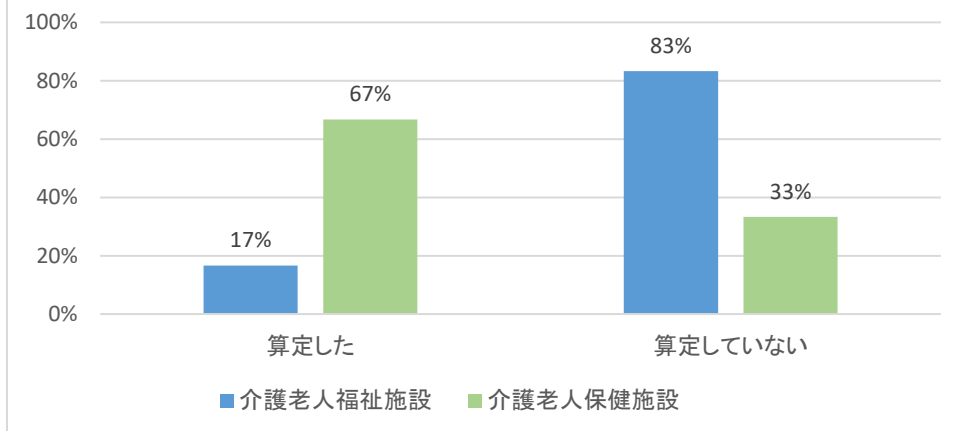
≪施設における加算の状況≫



介護老人保健施設では約70%算定されており福祉施設では50%算定されていた。

※栄養マネジメント加算とは・・・管理栄養士による栄養マネジメントや栄養改善サービスを実施し、ご利用者の栄養状態の改善、維持に努めた場合に加算されるもの

施設種別の経口維持加算・経口移行加算の算定状況

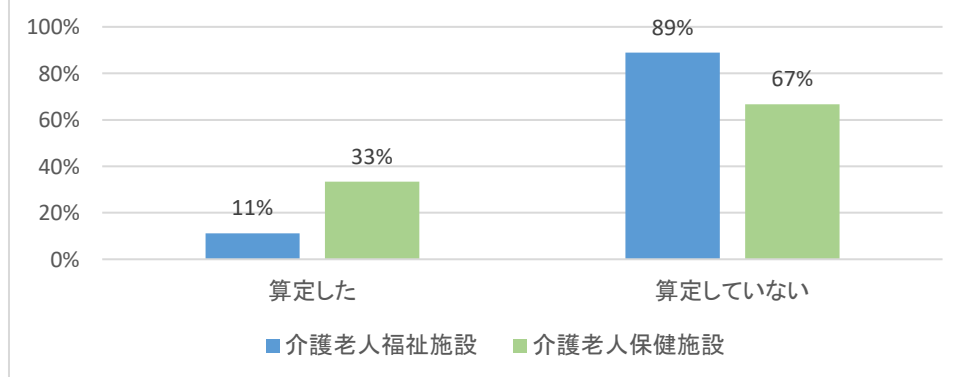


保健施設では約70%近くの施設で算定されていたが、福祉施設では17%しか算定されていなかった。

※維持加算とは・・・入所者が認知機能や摂食、嚥下機能の低下により、食事の経口摂食が困難となった場合でも、口で食べる楽しみを得られるように、多職種共同での支援の充実と促進を図ることを目的としている加算

※経口移行加算とは・・・医師の指導に基づき、現在経管での食事を摂っている入所者ごとに、経口での食事に移行する計画を医師、歯科医師、管理栄養士、看護師等が共同して作成する。医師の指示を受けた管理栄養士または栄養士が、その計画に沿って実施された場合に加算できる。

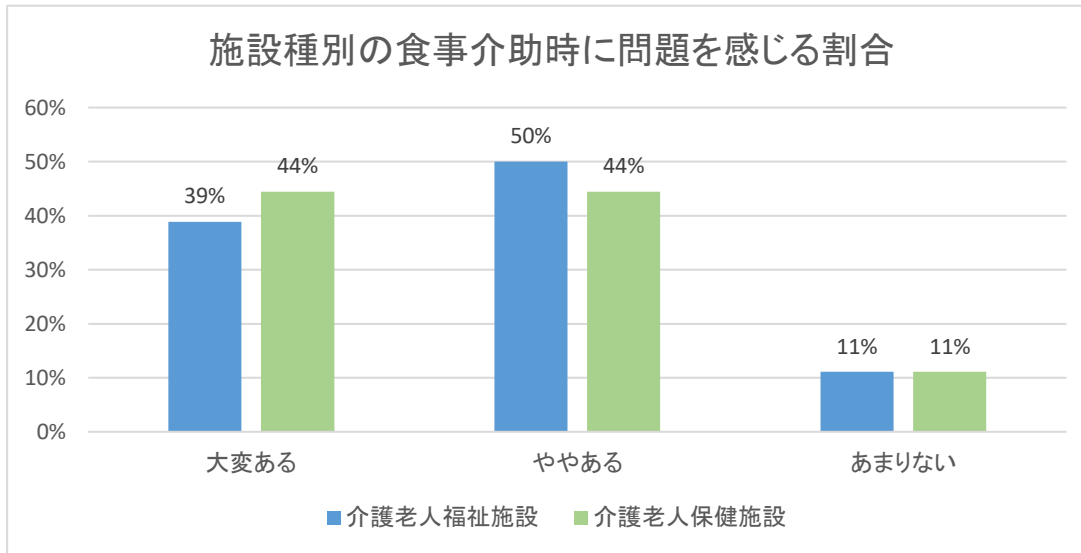
施設種別の直近1カ月間の口腔衛生管理加算の算定状況



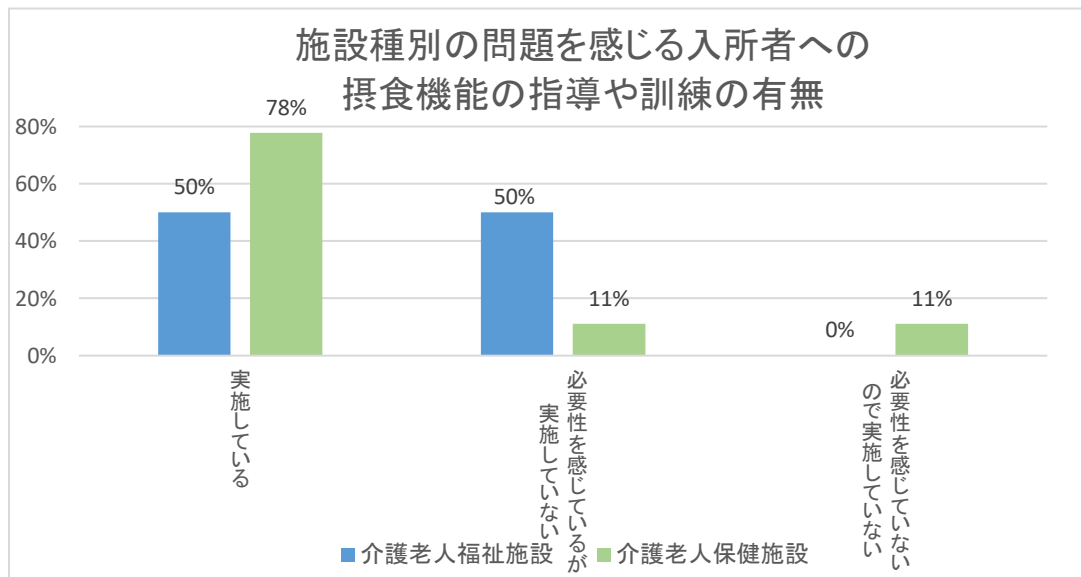
保健施設では33%しか算定しておらず、福祉施設においてはわずか11%の算定であった。

※口腔衛生管理体制加算とは・・・歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対する口腔ケアに係る技術的助言及び指導を月一回以上行っている場合に算定できる加算。口腔衛生管理体制加算は、平成30年度介護報酬改定により新設された。

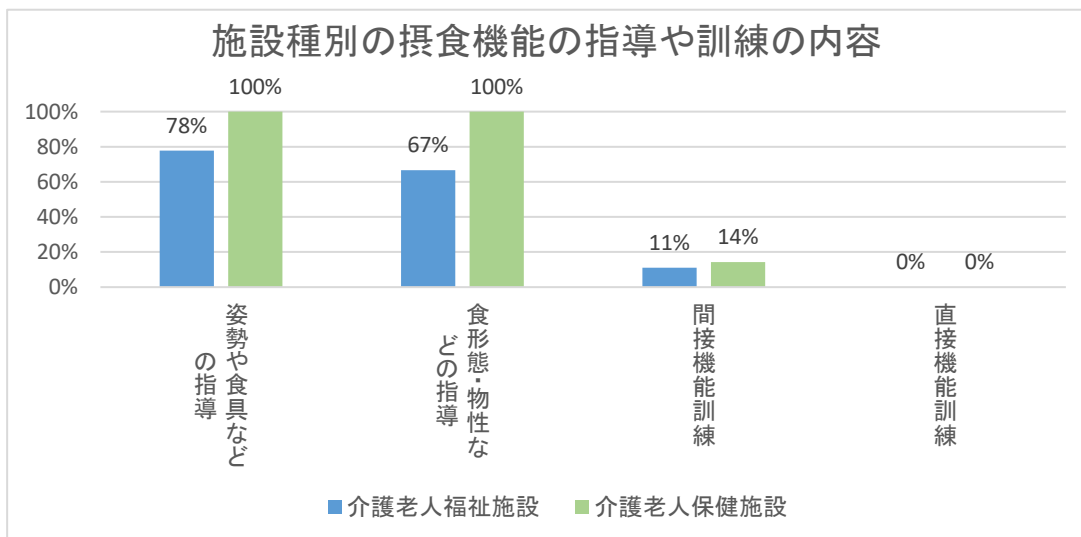
《施設における摂食機能の状況》

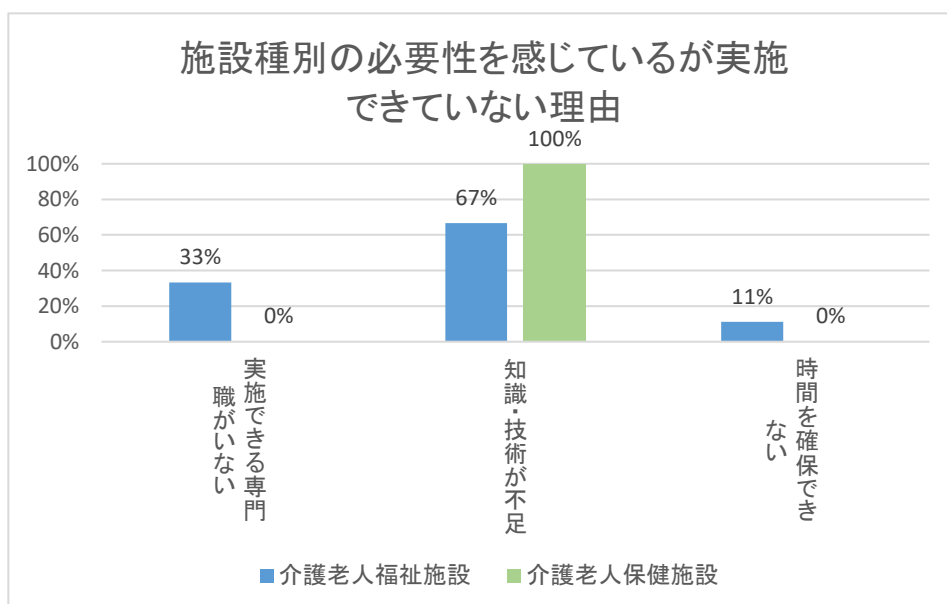


両施設において食事介助時に入所者の問題を感じるものが「大変ある」「ややある」と回答した割合は約90%であった。



老人保健施設では約80%の割合で、実施されているが、福祉施設では実施していると、必要性を感じているが実施していないとの回答が半数に分かれた。





福祉施設において半分の9施設が必要性を感じるが実施できていない主な理由に「評価や実施方法など知識・技術が不足している」こと「実施できる専門職がない」ことが挙げられた。保健施設では1施設のみ必要性を感じているが実施できていないと回答し、その理由に「評価や実施方法など知識・技術が不足している」ことが挙げられた。

障がい(児)者入所施設を対とした調査結果の概要

○ 調査対象施設の区分について

平成18年度の障害者自立支援法施行により、障害者施設の体系が変更され、障がい種別毎に区分されていた入所施設が障がい者支援施設(施設入所支援)として一本化された。

それに伴い、平成23年度末までに新体制施設への移行が必要となった。

国調査は、平成23年度中に実施されたため移行前の旧体系施設も対象となっていたが、佐世保市調査は平成25年度に実施したため新体系へ移行済みであるため、両調査の対象施設の区分が異なっている。

また、18歳未満の障害児を対象とした施設についても、児童福祉法改正により平成24年度より施設体系が変更されたため区分が異なっている。

診査対象

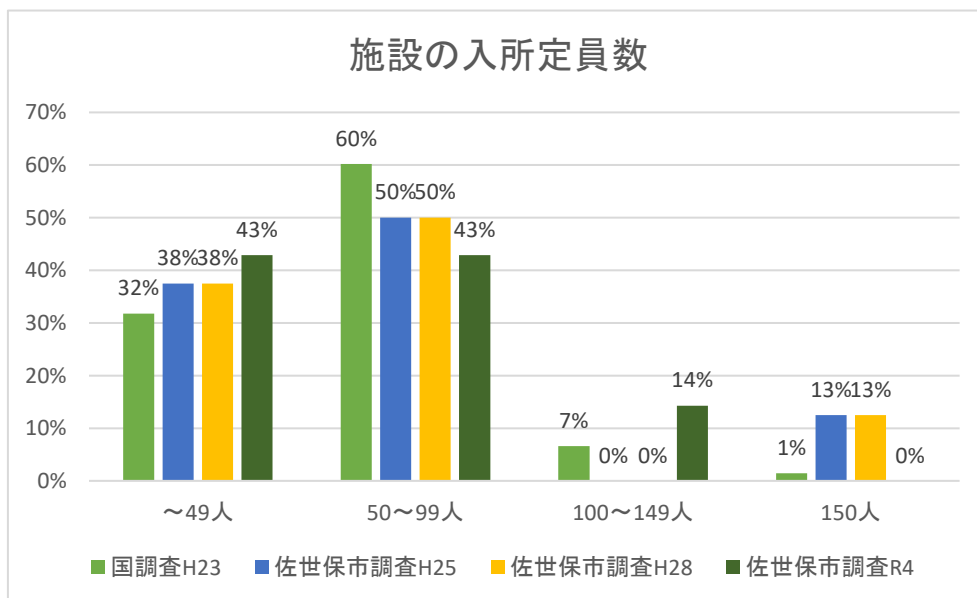
	国調査		佐世保市調査					
	H23		H25		H28		R4	
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
施設入所支援	1695	66.8%	8	100%	8	100%	7	100%
知的障害者入所厚生施設	495	19.5%						
知的障害者授産施設	110	4.3%						
身体障害者入所療護施設	127	5.0%						
身体障害者入所更生施設	30	1.2%						
身体障害者入所授産施設	61	2.4%						
知的障害児施設	11	0.4%						
肢体不自由児施設	4	0.2%						
重症心身障害児施設	6	0.2%						
	2539	100.0%	8	100%	8	100%	7	100%

○ 回収率は、前回(H25)と同様に100%の回収率であった。

回収数・率

	国調査		佐世保市調査		佐世保市調査		佐世保市調査	
	H23		H25		H28		H28	
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
回答あり	1604	63.2%	8	100%	8	100%	7	100%
分析対象	1552	61.1%	8	100%	8	100%	7	100%
	2539	100%	8	100%	8	100%	7	100%

○ 施設の入所定員は、50-99人の規模が一番多くH23の国と同様の傾向であった。
また、佐世保市のH25からR4まで大きな変化は認められなかった。

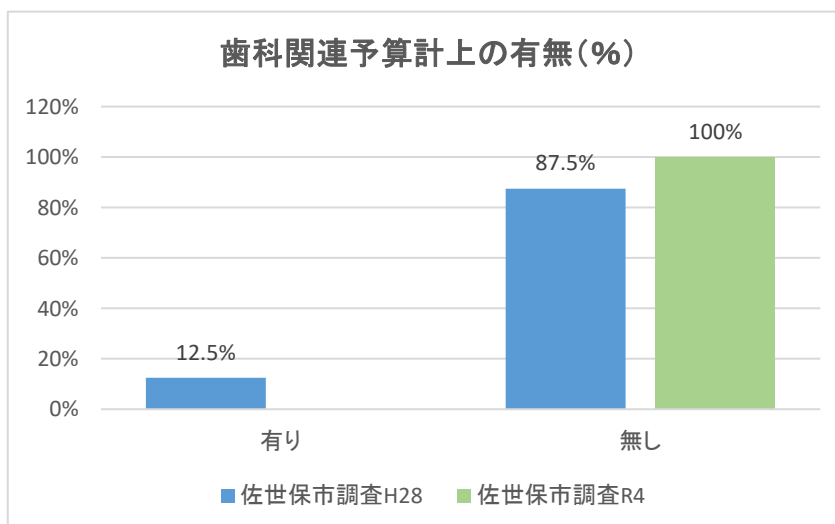


【参考】※R4年度の入所者数の中央値(境界)は55名であり、四分位範囲は40から88名であった。

表1 施設の入所定員

	国調査		佐世保市調査					
	H23 施設数	(%)	H25 施設数	(%)	H28 施設数	(%)	R4 施設数	(%)
～49人	494	31.8%	3	38%	3	38%	3	43%
50～99人	934	60.2%	4	50%	4	50%	3	43%
100～149人	102	6.6%	0	0%	0	0%	1	14%
150人	22	1.4%	1	13%	1	13%	0	0%
	1552	100%	8	100%	8	100%	7	100%

○ 「歯科関連事業(歯科健診や歯科保健指導など)について施設独自で予算を計上している施設」の数はH28で1施設、R4で0施設であった。



○7施設のすべてにおいて歯科医師による歯科健診を受ける機会があると回答していたが、その内、入所者全員を対象に実施している施設は2施設のみでその施設では年3回以上定期健診が行われていた。

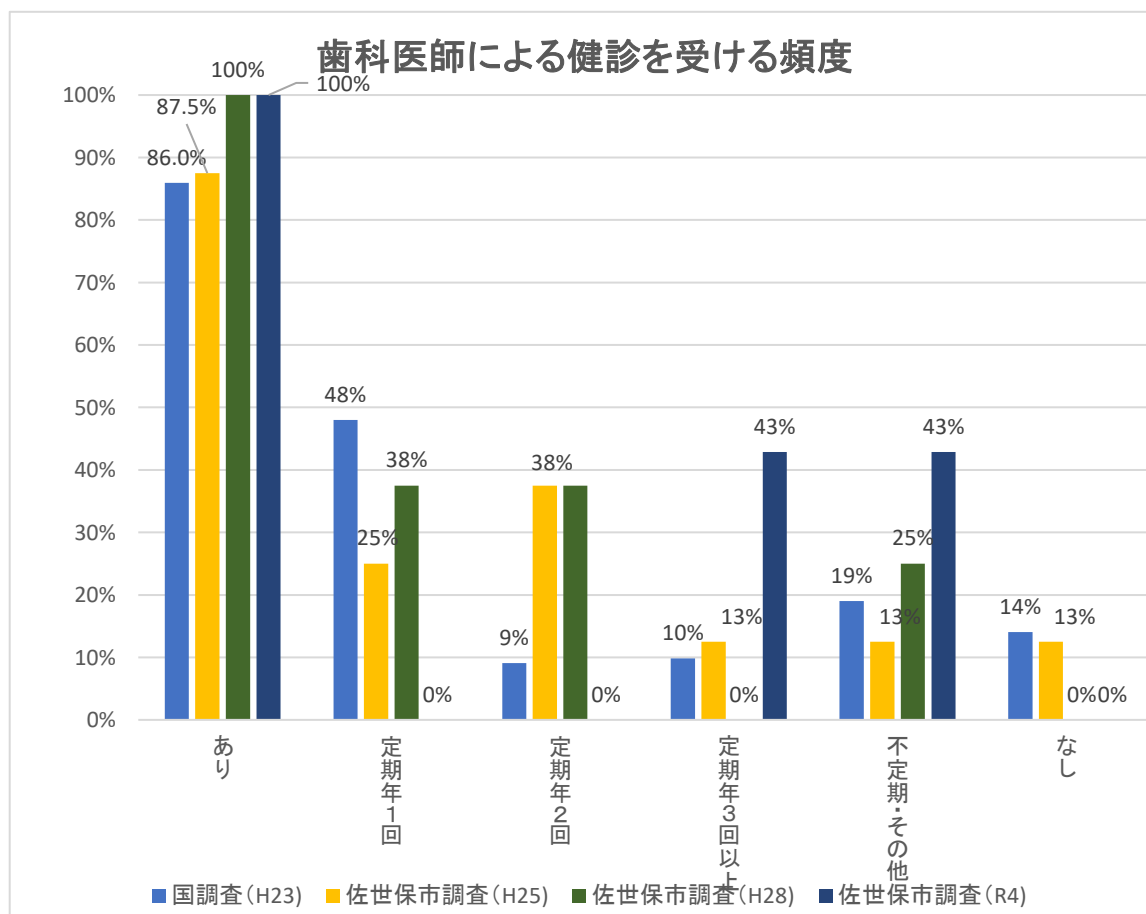


表2 歯科医師による歯科健診を受ける機会

	国調査		佐世保市調査					
	H23	H25	H28	H28	R4	R4		
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
あり	1334	86.0%	7	88%	8	100%	7	100%
定期 年1回	745	48.0%	2	25%	3	38%	0	0%
定期 年2回	141	9.1%	3	38%	3	38%	0	0%
定期 年3回以上	153	9.9%	1	13%	0	0%	3	43%
不定期・その他	295	19.0%	1	13%	2	25%	3	43%
なし	218	14.0%	1	13%	0	0%	0	0%
	1552	100%	8	100%	8	100%	7	100%

○ 歯科医師・歯科衛生士による歯科保健指導を受ける機会は、7施設中6施設あると回答した。その内、入所者全員を対象にした歯科保健指導が定期的に行われているのは1施設のみでこの施設では歯科医師による定期的な健診が年3回以上行われていた。

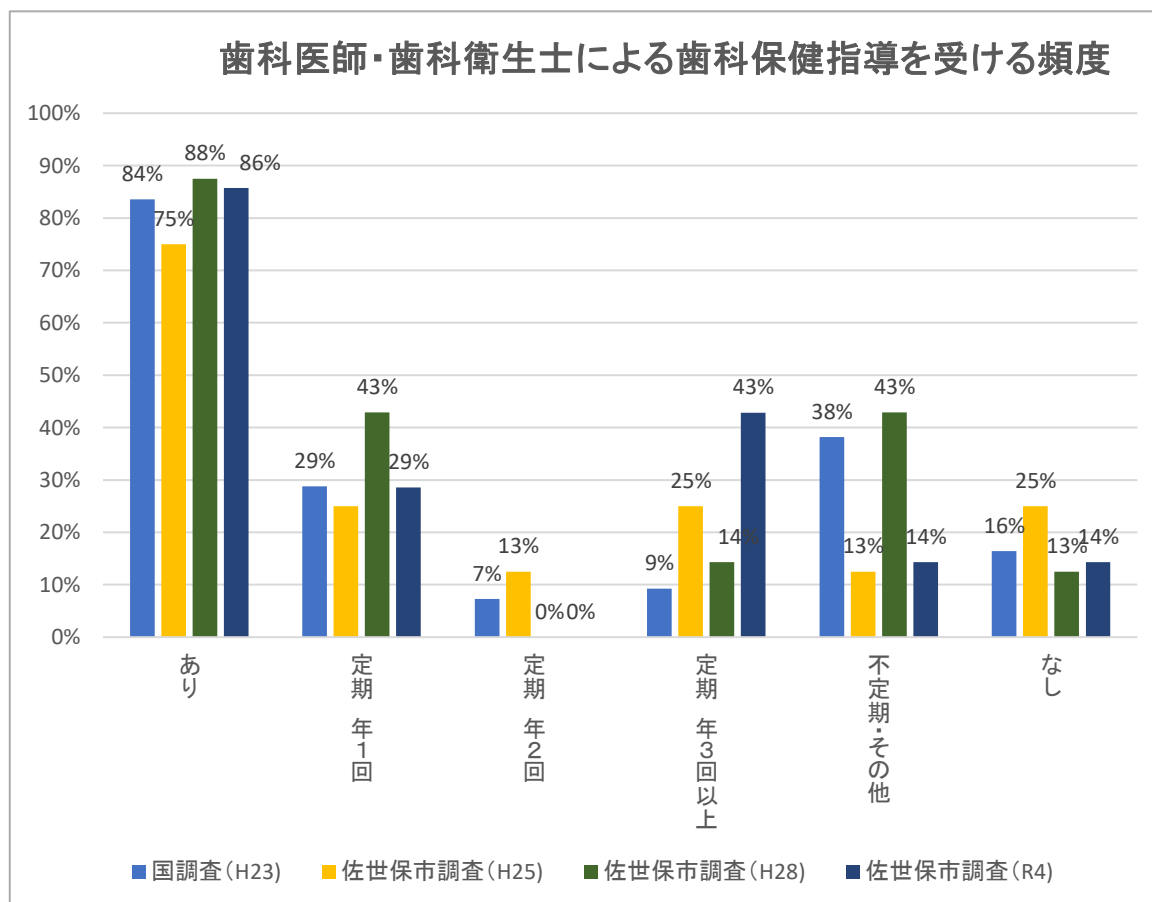


表3 歯科医師・歯科衛生士による歯科保健指導を受ける機会

	国調査 (H23)		佐世保市調査 (H25)		佐世保市調査 (H28)		佐世保市調査 (R4)	
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
あり	1297	83.6%	6	75%	7	88%	6	86%
定期 年1回	447	28.8%	2	25%	3	43%	2	29%
定期 年2回	113	7.3%	1	13%	0	0%	0	0%
定期 年3回以上	144	9.3%	2	25%	1	14%	3	43%
不定期・その他	593	38.2%	1	13%	3	43%	1	14%
なし	255	16.4%	2	25%	1	13%	1	14%
	1552	100%	8	100%	8	100%	7	100%

○ 年3回以上の歯科医師による歯科健診を受ける機会を持つ施設が3施設あり、年1回以上の歯科医師または歯科衛生士の保健指導を受ける施設が5施設あり、定期的な歯科衛生士による口腔ケアがなされる施設が1施設あった。しかしながら、むし歯予防方法として確立されているフッ化物塗布がなされている施設はなかった。

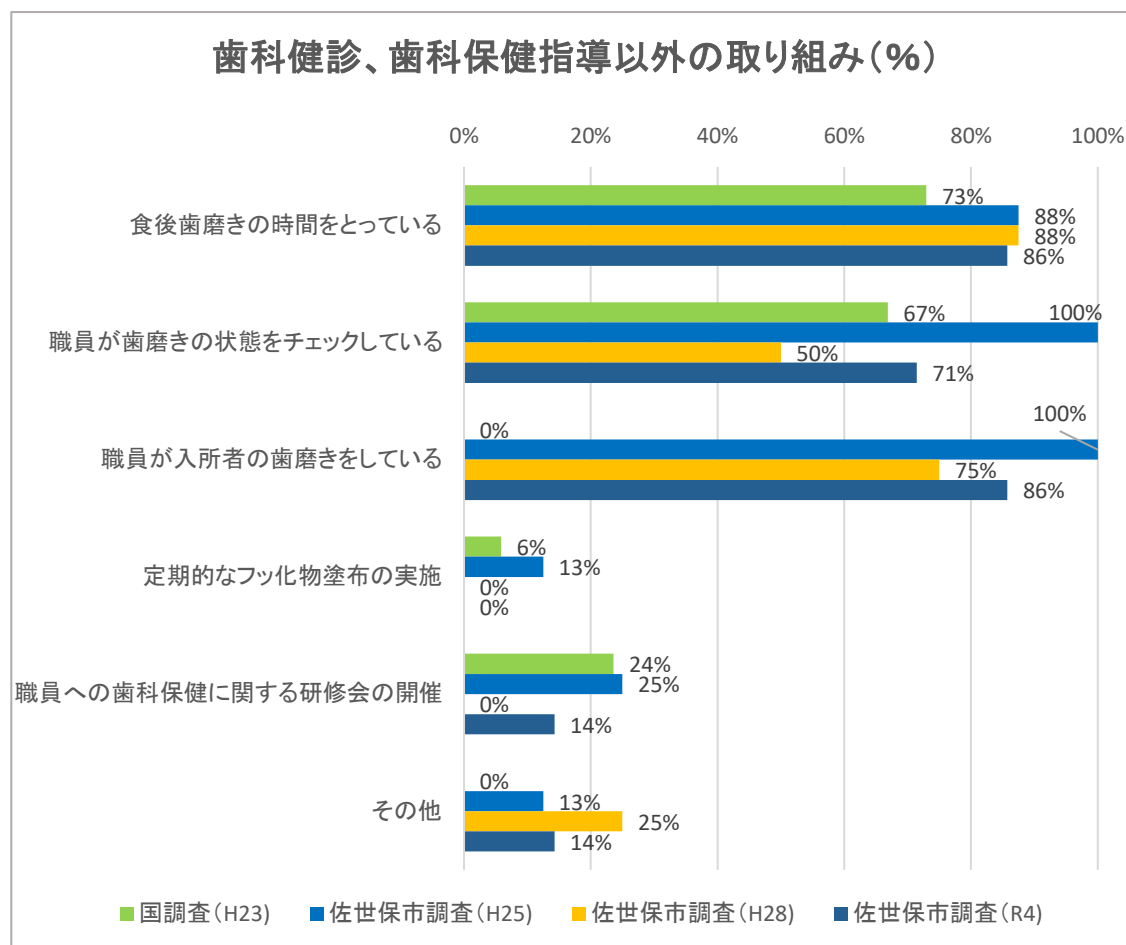


表4 歯科健診、歯科保健指導以外の取(複数回答)

	国調査 (H23)		佐世保市調査 (H25)		佐世保市調査 (H28)		佐世保市調査 (R4)	
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
食後歯磨きの時間をとっている	1132	72.9%	7	88%	7	88%	6	86%
職員が歯磨きの状態をチェックしている	1038	66.9%	8	100%	4	50%	5	71%
職員が入所者の歯磨きをしている			8	100%	6	75%	6	86%
定期的なフッ化物塗布の実施	91	5.9%	1	13%	0	0%	0	0%
職員への歯科保健に関する研修会の開催	366	23.6%	2	25%	0	0%	1	14%
その他	0	0.0%	1	13%	2	25%	1	14%
	1552	100%	8	100%	8	100%	7	100%

※今回(R4)におけるその他の内容:定期的に歯科衛生士による口腔ケアの実施

○ 歯科治療が必要な際の対応は、7施設すべてにおいて「職員が近隣の歯科医院に連れて行く」と回答した。

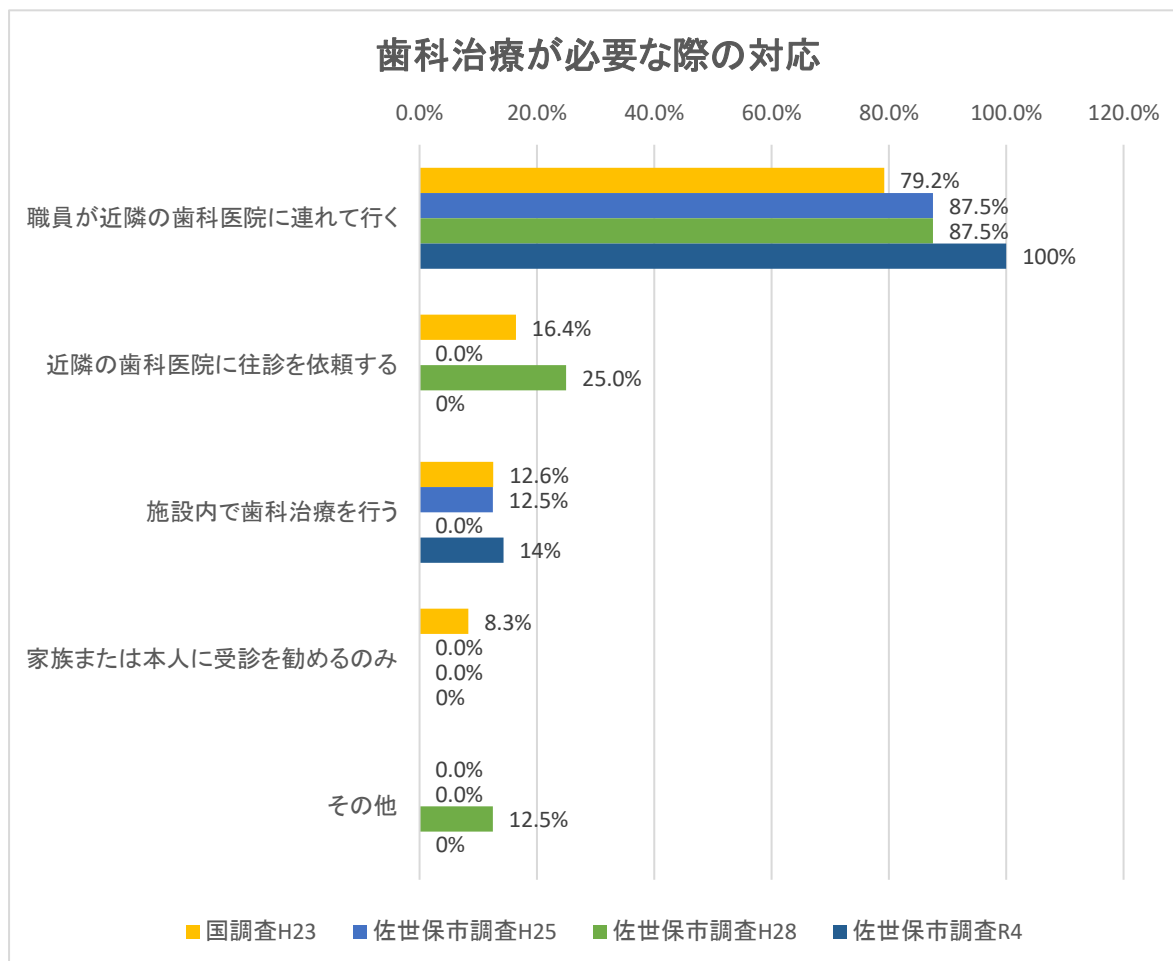


表5 歯科治療が必要な際の対応(複数回答)

	国調査		佐世保市調査					
	H23	H25	H28	R4	H23	H25	H28	R4
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
職員が近隣の歯科医院に連れて行く	1229	79.2%	7	88%	7	88%	7	100%
近隣の歯科医院に往診を依頼する	255	16.4%	0	0%	2	25%	0	0%
施設内で歯科治療を行う	195	12.6%	1	13%	0	0%	1	14%
家族または本人に受診を勧めるのみ	129	8.3%	0	0%	0	0%	0	0%
その他			0	0%	1	13%	0	0%
	1552	100%	8	100%	8	100%	7	100%

○ 入所者の歯・口のことで問題を感じることがあるかについて「ある」と回答した施設が5件あった。内訳は、「ややある」と回答した施設が2件あり、「大変ある」と回答した施設が3件であった。

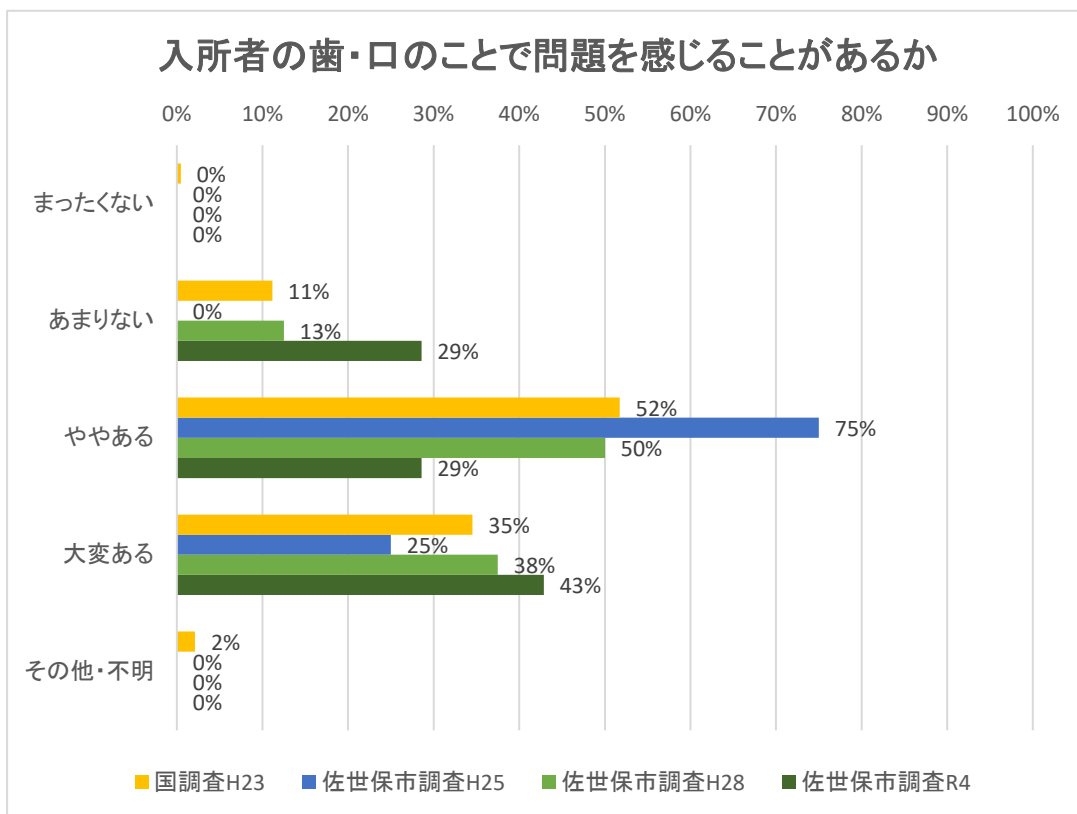


表6 入所者の歯・口のことで問題を感じることがあるか

	国調査		佐世保市調査					
	H23	H25	H28	R4	H23	H25	H28	R4
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
大変ある	536	34.5%	2	25%	3	38%	3	43%
ややある	803	51.7%	6	75%	4	50%	2	29%
あまりない	173	11.1%	0	0%	1	13%	2	29%
まったくない	7	0.5%	0	0%	0	0%	0	0%
その他・不明	33	2.1%	0	0%	0	0%	0	0%
	1552	100%	8	100%	8	100%	7	100%

○ 摂食嚥下機能向上に関する取り組みについては、本市独自でH25から設問を追加して調査を行っている。R4年度、嚥下機能向上のための取り組みを行っている施設は6施設あり、職員が嚥下ケア研修会へ参加する機会が増加した。

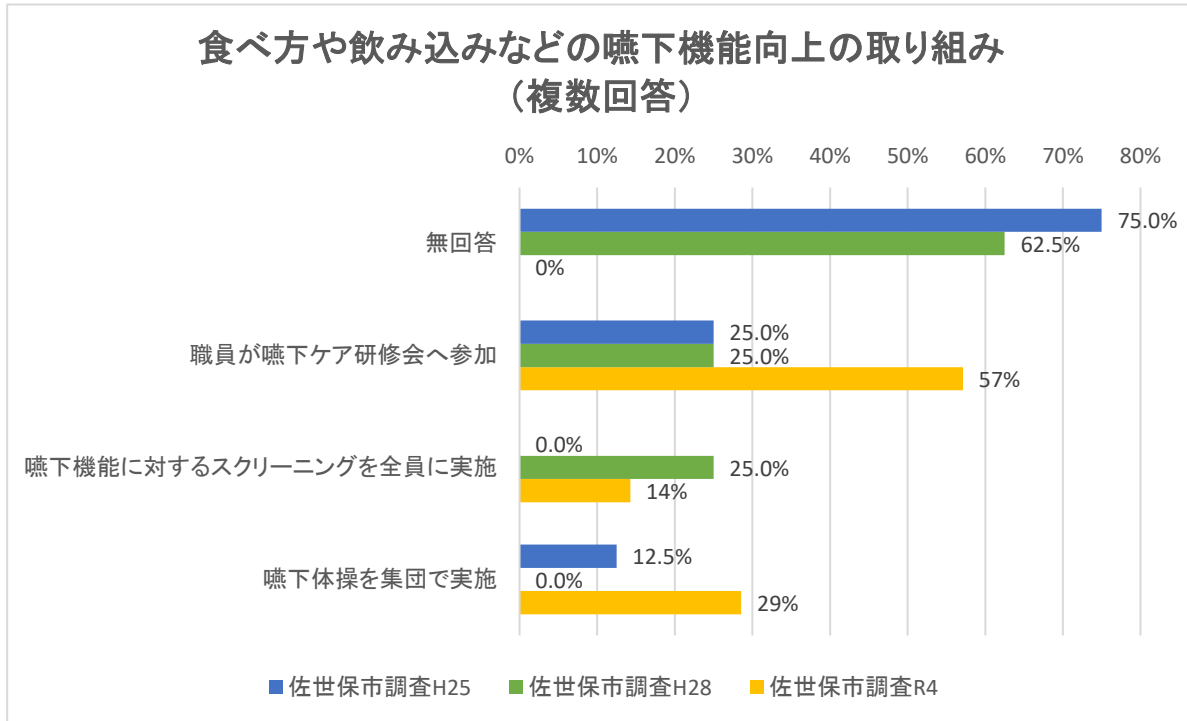


表7 食べ方や飲み込みなどの嚥下機能向上の取り組み(複数回答)

	佐世保市調査 H25		佐世保市調査 H28		佐世保市調査 R4	
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
嚥下体操を集団で実施	1	12.5%	0	0%	2	29%
嚥下機能に対するスクリーニングを全員に実施	0	0.0%	2	25%	1	14%
職員が嚥下ケア研修会へ参加	2	25.0%	2	25%	4	57%
無回答	6	75.0%	5	63%	0	0%
	8	100%	8	100%	7	100%

※今回(R4)は、7施設中1施設が「取り組みなし」と回答した。

○ 入所者の食事介助で問題を感じることもあるかについて、すべての7施設が「ある」と回答した。その内訳は「ややある」が3施設で「大変ある」が4施設であった。

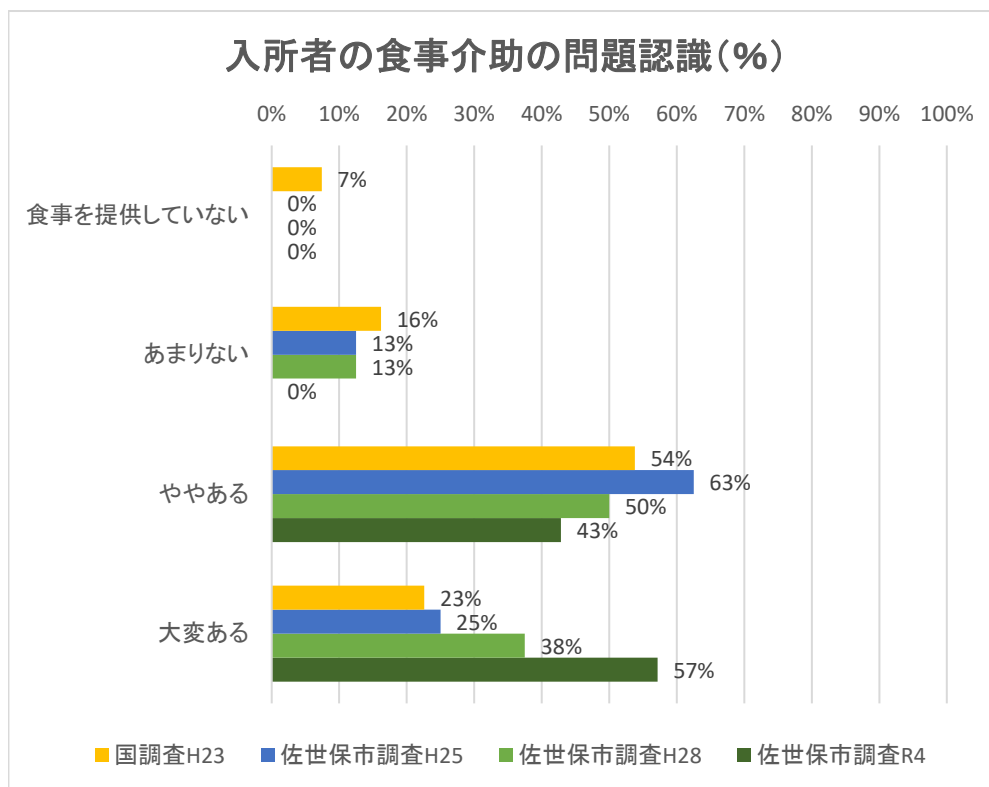


表8 入所者の食事介助のことで問題を感じることもあるか

	国調査 H23		佐世保市調査					
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
大変ある	351	22.6%	2	25%	3	38%	4	57%
ややある	835	53.8%	5	63%	4	50%	3	43%
あまりない	251	16.2%	1	13%	1	13%	0	0%
食事を提供していない	115	7.4%	0	0%	0	0%	0	0%
	1552	100%	8	100%	8	100%	7	100%

○7すべての施設において入所者への食事介助時に問題を感じるがあると回答した。そのうちの3施設において指導や訓練を行っていると回答し、4施設において必要性を感じているが実施していないと回答した。

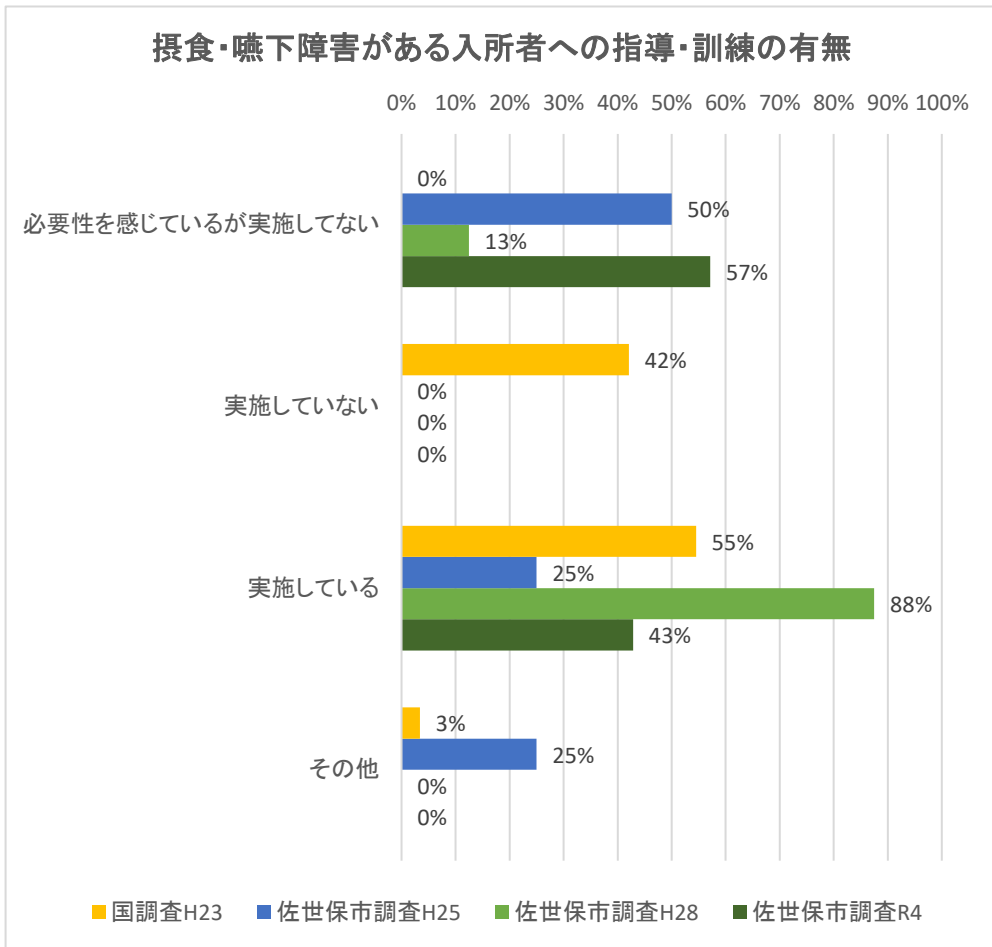


表9 摂食・嚥下障害がある入所者への指導・訓練の有無

	国調査		佐世保市調査					
	H23	H25	H28	R4	H23	H25	H28	R4
	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)	施設数	(%)
実施している	846	54.5%	2	25%	7	88%	3	43%
実施していない	653	42.1%	0	0%	0	0%	0	0%
必要性を感じているが実施していない	0	0.0%	4	50%	1	13%	4	57%
その他	53	3.4%	2	25%	0	0%	0	0%
	1552	100%	8	100%	8	100%	7	100%